

I 全般的な財務状況の説明

1) 資金収支計算書

資金収支計算書とは、学校法人の各年度における諸活動をお金の動きに着目して表したものです。教育研究に対する資金の使途（資金支出）とこれに対する資金の調達（資金収入）が明らかにされています。

令和 3 年度では新潟医療福祉大学での運動施設の新築ならびに備品等が施設設備関係支出の主なものとなっております。翌年度繰越支払資金は 5,304 百万円、昨年度比 21.3%の増となりました。

2) 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書とは、経営状況を表すものであり学校法人会計基準において「当該会計年度の教育活動、教育活動以外および臨時的な収支ならびに基本金組入額を表示し均衡の状態を明らかにするために行う」と規定されております。

令和 3 年度は、新潟医療福祉大学における学科新設（平成 30 年度：診療放射線学科、令和 3 年度：健康スポーツ学科定員増）および新潟食料農業大学の開学（平成 30 年度）による学生生徒等納付金の増加を要因として教育活動収入計が昨年度比で 404 百万円増の 7,886 百万円となりました。

支出の見直しなどを行い基本金組入前当年度収支差額は 727 百万円となり順調に進んでおります。

3) 貸借対照表

貸借対照表とは、一定時点(3月末現在)の財産の状況を明らかにする計算書類であり、教育研究活動を行うために必要となる資産の保有状況とそれらの資産の取得源泉である負債、基本金および消費収支差額を対照して、その充足状態を計る仕組みです。

令和 3 年度は、新潟医療福祉大学屋内投てき練習場および第 3 トレーニングセンターの建築ならびに備品等の取得を行いました。それ以外の大きな設備投資はなかったものの、資産は 30,785 百万円、負債は 7,529 百万円、純資産は 23,255 百万円、昨年度比でそれぞれ 1.7%増、2.6%減、3.2%増となりました。

なお、流動負債のうち、1,425 百万円は新入生からの授業料等の前受金であり、新年度には学生生徒等納付金として収入に振り替えたうえで教育研究活動の費用に充てられていくものです。学校法人会計基準により負債へ算入していますが、弁済義務のあるものではありません。